令和５年度

学校評価関係資料

愛媛県立宇和島東高等学校

報告日：　令和６年３月１５日(金)

（様式２）

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

愛媛県立宇和島東高等学校　全日制・定時制
学校番号（　４０　）

評価実施日		令和６年２月１５日（木）	
	氏　　名	所　　属　　等	備　考
委員	渡部　慎二	学校評議員、伊予銀行　宇和島支店長	
	一色　敏徳	学校評議員、愛媛新聞社　南予支社長	
	高田　哲也	株式会社　高田商店　代表取締役	
	田上　和昭	元県立高校　校長	
	田中　繁幸	ジブラルタ生命保険株式会社　営業次長	
	今井　　純	宇和島市立城南中学校長	
	中川　秀樹	ＰＴＡ会長	
	芳谷　圭一	教育振興会長	

評　価　・　提　言　等	提言等に対する改善方策等
１　今年度の最終評価について	１　今年度の最終評価について
(1)　心身健康で豊かな心	(1)　心身健康で豊かな心
ア　生徒と先生の信頼関係のもとに校則の見直しが行われていることを前向きに捉えたい。昨年、県内でも高校生が被害者となる痛ましい事故が発生しており、自転車の交通事故防止を含め、外部講師を招くなど、交通安全教育の更なる充実をお願いしたい。	ア　今後も生徒会と連携して、生徒たちが主体的に校則について考えていける雰囲気を作っていきたい。交通安全については、これまで以上に交通安全指導や街頭指導、交通安全委員会からの呼びかけ等を充実させることで交通安全意識の向上を図り、交通事故０を目指したい。
イ　南海トラフ地震が今後30年以内に発生する確率は80％といわれている。巨大地震への備えとして防災教育を今後も充実させ、生徒の防災意識の向上に役立ててほしい。 　また、災害時に備え、学校に防災倉庫の設置等も検討してはどうか。	イ　本校では防災委員会を設置しており、校内避難訓練や市内６校合同避難訓練の際の企画・運営を行っている。また、文化祭での展示等で生徒への啓発活動にも取り組んでいる。さらに、福島県や愛知県、兵庫県、岡山県等の高校生と合同学習会を定期的に開催し、学びを拡充させている。市内あるいは県内で開催される防災イベントや発表会にも積極的に参加しており、今後も継続して取り組み、防災教育を推進していきたい。 　防災倉庫については、宇和島市より津波避難施設の指定を受けている関係で校内に設置している。備蓄資材は、発電機・投光器・毛布・簡易トイレ等を備えている。また、災害時備蓄物資として食料990食・水3,000本(490ｍｌ）も宇和島市より依頼を受け保管している。
ウ　基本的生活習慣の定着や人権意識の育成、ボランティア活動や部活動、特別活動での指導等、様々な教育機会を通して健やかな体、感謝する心や他を思いやる心、自他を尊重する心等を養う活動が適切に行われていると感じる。身心健康で豊かな心は、自己実現の基礎をなすものであるので、今後も「質の高い文武両道」を通して生徒の人間性を高める取組を続けてほしい。	ウ　今後も担任、各課、関係機関と情報を共有し連携しながら様々な教育活動に取り組み、生徒の人間性を高めていきたい。 　人権意識の育成に関しては、毎月２２日を人権の日とし、人権だより「Hidamari」を発行して、ＳＨＲ時には人権委委員からの校内一斉放送や人権・同和教育ホームルーム活動、人権・同和教育講演会、人権集会を行い、人権について考える時間や設けている。それらの教育活動を通してさらに人権尊重の精神、より良い生き方の追求を行っていきたい。

評　価　・　提　言　等	提言等に対する改善方策等
(2)　探究心・実践力の育成 ア　アンケート集計結果での生徒、保護者の学校や教員に対する評価は高く、刊行物での生徒記述、進路状況等の資料、ホームページ等による情報提供が丁寧に行われている様子がうかがえる。 　学校への信頼関係が構築されおり、教職員が熱意をもって生徒の自己実現に向けて組織的かつ計画的に教育活動に取り組んでおり、その成果も現れている。 イ　大学等の進学状況をみても、昨年度に並ぶ成果が上がっている。部活動においても成果が現れており、文武両道を目指しながら頑張る姿勢は大変素晴らしい。 　今後も学力向上への取組やキャリア教育の充実を含め、地域や社会における体験活動等も取り入れながら教員の適切な指導と導きによって生徒の自己実現力を育成していただきたい。	(2)　探究心･実践力の育成 ア　今後も「教科等横断型授業」、「ＩＣＥモデルを基軸とした新たな学び」の研究・実践を通して、生徒の学びの多様性を保障し、教科を超えて授業改善について取り組む風土を大切にし、教育の質の向上に努めたい。さらに、「自己調整学習」の研究により、生徒の「自ら学ぼうとする姿勢」を育んでいきたい。 　また、ＩＣＥ機器をより効果的に活用し、生徒の意欲、教職員のやりがい・ウェルビーイングを高めたい。 イ　土曜補習の廃止、課題の精選、ＩＣＴ端末の利用、部活動の休日の設定等が軌道に乗り、生徒が主体的に学ぶ時間や振り返りをする時間を確保できたことで、文武ともによい成果が現れていると感じている。また、今後もボランティア活動をはじめ、地域に貢献する活動を積極的に取り入れ、生徒が将来への目的を見つけ、主体的、協働的に学ぶ姿勢を養っていきたい。同時に、我々教職員もより一層ワークライフバランスの充実を図り、温かい学校づくりを目指したい。
(3)　魅力ある学校 ア　学校参観の際にも生徒は明るく授業や学校行事に参加できていると感じた。教職員の熱意とやる気は、生徒たちが自分らしい生き方の実現に向けて、主体的に学校生活を送ろうとする意欲につながっていると思われる。 　コロナ禍では難しかった全校生徒による校歌や応援歌の斉唱などを今後は各種行事でも復活させ、愛校心を育む一助としてほしい。 イ　様々な制約や教職員の適切な業務分担にも配慮する必要があるため、生徒会や保護者、教職員の声にも耳を傾けながら、現在行っている学校行事等のブラッシュアップを行いながら生徒主体の魅力や達成感が得られるものにしていくことを検討する必要もあるのではないかと考える。	(3)　魅力ある学校 ア　４年ぶりに在校生と共に卒業式が実施された。式では「校歌」や唱歌「仰げば尊し」の歌声が体育館にこだました。また、部活動の全国選抜大会出場の壮行会では「応援歌」も歌われた。次年度は、様々な特別活動の場面でも取り入れ生徒や教職員、保護者にとって愛校心の醸成につながる取組にしていきたい。 イ　学校再編整備計画や働き方改革が進展し、教育現場が大きく様変わりする時こそ学校の魅力化がこれまで以上に求められると考える。地域との連携を深めつつ、部活動や学校行事は、今後どうあるべきか検討しなければならない。地域貢献活動への取組充実もその一例であり、次年度はさらに改善し、実施していきたい。
2　定時制について 　生徒の社会的自立や希望進路の実現に様々な取組がなされている。成果が十分に出ていないものも見られるが、生徒の気持ちや将来の希望、家庭事情を汲み取り、根気強く指導、支援されていることがうかがえる。 　困難なことも多々あると思うが、実社会に出て大きく成長する生徒もいるので、今後も温かい心で接し、継続した教育をお願いしたい。 　全日制は読書の習慣を身に付ける「朝の読書」を実施している。読書には豊かな心を育み、物事を深く考える姿勢を養う効果も期待できるのではないかと考える。図書館の積極的な利用を促すとともにＳＨＲの時間を利用して読書の時間を設定してはどうだろうか。	2　定時制について 　成果が十分ではなかったボランティアや生徒生活体験発表大会に関しては、その意義について十分に説明するほか、生徒に全国大会の発表を視聴させるなど意欲の向上に努めていきたい。また、学校行事等、評価の高かった項目に関しても、生徒が主体的に準備や運営ができるよう改善していきたい。 　家庭の環境や経済状況が厳しい生徒が多いことを踏まえ、進路指導のみならず、社会人として必要なスキルを身に付ける講習会等にも積極的に取り組んでいきたい。また、地域の担い手となる人材の育成にも取り組んでいきたい。 　読書の啓発に関しては、来年度、総合的な探究の時間のテーマ学習に「読書に親しもう」という講座を設ける予定である。また、全校集会において、教頭や国語科教員からの読書についての講話を計画している。
3　学校運営について 　学校参観や自己評価表、アンケート集計結果等からも学校運営が適切に行われていることがうかがえる。一方、教職員は教科や校務分掌、部活動指導等の仕事も多種多様で勤務時間の適正化と休暇の取得など、ワークライフバランスがとりにくい面もあり、教職員の労務負荷が気になる。管理職には自身の勤務管理はもちろん、職員全体の勤務管理に一層の目配りをお願いしたい。	3　学校運営について 　教材研究や生徒の進路研究など、教職員の業務には「ここまで」という限度を設定しにくいものがある。業務を「何時までに終わらせる」という設定も困難な点がある。管理職が、教職員各自が記録する「出退勤状況記録表」等を確認し、勤務時間外在校時間が月80時間を超える教職員には面談を行い、業務内容を確認し、精選できるものは精選していただき、ワークライフバランスがとれるような勤務にできるよう指導していきたい。

愛媛県立宇和島東高等学校	全日制	理数科
所在地 連絡先	〒798-0066 Tel：0895-22-0261　Fax：0895-24-0495	
URL	https://uwajimahigashi-h.esnet.ed.jp/	

スクール・ミッション （期待される社会的役割、目指すべき学校像）

宇和島市にある普通科、理数科及び商業科の併設校として、質の高い課題解決型の探究的な学びを実践します。また、地域や大学等との協働を通して、幅広い知識や教養、向上心を育むとともに、社会の変化に柔軟に対応し、その発展に貢献する人材を育成します。

スクール・ポリシー （入学から卒業までの教育活動に関する三つの方針）

卒業までに育てる力

グラデュエーション・ポリシー （育成を目指す資質・能力に関する方針）

スーパーサイエンスハイスクール（ＳＳＨ）校の指定を受け、問題解決型学習等をとおして「主体的・対話的で深い学び」を実践し、新しい時代に求められる資質を身に付け、社会に貢献できる人材の育成を目指します。

- 多様な価値を認め合い、協働して社会を創造するコミュニケーション能力、人権感覚など豊かな心を身に付けます。（敬愛）
- 新しい時代を切り拓くための広い視野や創造力など高い人間力を身に付けます。（自律）
- 地域や国際社会における課題を発見し、解決に向けて挑戦する探究心、実践力を身に付けます。（進取）

何をどのように学ぶのか

カリキュラム・ポリシー （教育課程の編成及び実施に関する方針）

大学などの研究機関や企業などとの連携により先進的な科学技術に対する知見を得るとともに、海外の高校生や大学生との科学交流からグローバルな物の見方や考え方、コミュニケーション能力を身に付けます。

また地域の自然・産業等、地域素材を生かした探究活動を行い、ＡＩやロボット工学を生かした地域の課題解決に取り組むとともに国際的な課題解決への発展性を探り提言していきます。

- ＩＣＴを活用し、個別学習の充実や情報発信力の向上に取り組みます。
- 身に付いた知識を生かし課題解決に向かう教科横断型の授業に取り組みます。
- 生徒の主体性を生かした学校行事を企画・運営し、自己肯定感を育みます。

入学時に求める生徒像

アドミッション・ポリシー （入学者の受入れに関する方針）

人格の完成をめざし、敬愛・自律・進取の精神を培い、「新しい時代を切り拓く人間力の育成」を目標として、学校生活に意欲的に取り組む生徒の入学を期待します。

- 学習活動、学校行事や部活動に対して向上心や挑戦心を持って主体的に取り組もうとする人
- 他人を思いやり、温かい心で周囲と協働して活動に取り組もうとする人
- 自らを厳しく律し、責任を持って行動しようとする人

愛媛県立宇和島東高等学校	全日制	普通科
所在地 連絡先	〒798-0066 Tel：0895-22-0261　Fax：0895-24-0495	
URL	https://uwajimahigashi-h.esnet.ed.jp/	

スクール・ミッション （期待される社会的役割、目指すべき学校像）

宇和島市にある普通科、理数科及び商業科の併設校として、質の高い課題解決型の探究的な学びを実践します。また、地域や大学等との協働を通して、幅広い知識や教養、向上心を育むとともに、社会の変化に柔軟に対応し、その発展に貢献する人材を育成します。

スクール・ポリシー （入学から卒業までの教育活動に関する三つの方針）

卒業までに育てる力

グラデュエーション・ポリシー （育成を目指す資質・能力に関する方針）

スーパーサイエンスハイスクール（ＳＳＨ）校の指定を受け、問題解決型学習等をとおして「主体的・対話的で深い学び」を実践し、新しい時代に求められる資質を身に付け、社会に貢献できる人材の育成を目指します。

- 多様な価値を認め合い、協働して社会を創造するコミュニケーション能力、人権感覚など豊かな心を身に付けます。（敬愛）
- 新しい時代を切り拓くための広い視野や創造力など高い人間力を身に付けます。（自律）
- 地域や国際社会における課題を発見し、解決に向けて挑戦する探究心、実践力を身に付けます。（進取）

何をどのように学ぶのか

カリキュラム・ポリシー （教育課程の編成及び実施に関する方針）

大学などの研究機関、行政機関や企業などとの連携により先進的な科学技術や現代社会が抱える課題に対する知見を得るとともに、海外の高校生や大学生との交流からグローバルな物の見方や考え方、コミュニケーション能力を身に付けます。

また南予地域の拠点校として、地域の課題である防災、少子高齢化、地域医療等に関する探究活動を行い、データサイエンスを利活用した地域の課題解決に取り組むとともに国際的な課題解決への発展性を探り提言していきます。

- ＩＣＴを活用し、個別学習の充実や情報発信力の向上に取り組みます。
- 身に付いた知識を生かし課題解決に向かう教科横断型の授業に取り組みます。
- 生徒の主体性を生かした学校行事を企画・運営し、自己肯定感を育みます。

入学時に求める生徒像

アドミッション・ポリシー （入学者の受入れに関する方針）

人格の完成をめざし、敬愛・自律・進取の精神を培い、「新しい時代を切り拓く人間力の育成」を目標として、学校生活に意欲的に取り組む生徒の入学を期待します。

- 学習活動、学校行事や部活動に対して向上心や挑戦心を持って主体的に取り組もうとする人
- 他人を思いやり、温かい心で周囲と協働して活動に取り組もうとする人
- 自らを厳しく律し、責任を持って行動しようとする人

愛媛県立宇和島東高等学校	全日制	商業科
所在地 連絡先	〒798-0066 Tel：0895-22-0261　Fax：0895-24-0495	
URL	https://uwajimahigashi-h.esnet.ed.jp/	

スクール・ミッション （期待される社会的役割、目指すべき学校像）

宇和島市にある普通科、理数科及び商業科の併設校として、質の高い課題解決型の探究的な学びを実践します。また、地域や大学等との協働を通して、幅広い知識や教養、向上心を育むとともに、社会の変化に柔軟に対応し、その発展に貢献する人材を育成します。

スクール・ポリシー （入学から卒業までの教育活動に関する三つの方針）

卒業までに育てる力

グラデュエーション・ポリシー （育成を目指す資質・能力に関する方針）

課題研究、インターンシップ等の体験的・問題解決型学習活動をとおして「主体的・対話的で深い学び」を実践し、新しい時代に求められる資質を身に付けます。また各種検定資格取得の取組をとおして、社会での即戦力として貢献することを目指します。

・　多様な価値を認め合い、協働して社会を創造するコミュニケーション能力、人権感覚など豊かな心を身に付けます。（敬愛）
・　新しい時代を切り拓くための広い視野や創造力など高い人間力を身に付けます。（自律）
・　地域や国際社会における課題を発見し、解決に向けて挑戦する探究心、実践力を身に付けます。（進取）

何をどのように学ぶのか

カリキュラム・ポリシー （教育課程の編成及び実施に関する方針）

企業や行政機関等との連携により地域の経済活動や人的交流活動等に対する知見を得るとともに、多様な物の見方や考え方、コミュニケーション能力を身に付けます。

また南予地域の拠点校として、地域の産業、経済、観光等に関する課題研究を行い、データサイエンスを利活用した地域の課題解決に取り組むとともに国際的な課題解決への発展性を探り提言していきます。

・　ＩＣＴを活用し、個別学習の充実や情報発信力の向上に取り組みます。
・　身に付いた知識を生かし課題解決に向かう教科横断型の授業に取り組みます。
・　生徒の主体性を生かした学校行事を企画・運営し、自己肯定感を育みます。

入学時に求める生徒像

アドミッション・ポリシー （入学者の受入れに関する方針）

人格の完成をめざし、敬愛・自律・進取の精神を培い、「新しい時代を切り拓く人間力の育成」を目標として、学校生活に意欲的に取り組む生徒の入学を期待します。

・　学習活動、学校行事や部活動に対して向上心や挑戦心を持って主体的に取り組もうとする人
・　他人を思いやり、温かい心で周囲と協働して活動に取り組もうとする人
・　自らを厳しく律し、責任を持って行動しようとする人

（様式１）

自　己　評　価　表

愛媛県立宇和島東高等学校(全日制)

学校番号（４０）

教育方針	人格の完成を目指して、敬愛・自律・進取の精神を培い、21世紀をたくましく生きぬく心身ともに健康な生徒の育成に努めます。	重点目標	新しい時代を切り拓く人間力の育成

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
心身健康で豊かな心	基本的生活習慣の定着	気持ちの良い挨拶や清潔感のある身だしなみを意識した生活をさせる。また、校内での自転車の押し歩きや施錠率の向上、正しいヘルメットの着用などの交通マナーや危機管理の徹底を図り、交通事故０を達成する。 Ａ：100～90%　Ｂ：89～75% Ｃ：74～60%　Ｄ：59～50% Ｅ：50%未満	C	身だしなみについては、校則の見直しをしたこともあり、全体的に違反者は少なくなっている。交通事故に関しては、今年はすでに７件、自転車運転中の交通事故が発生している。内訳は自損事故３件、車との接触４件であった。校内での自転車押し歩きは徹底できている。自転車の施錠率は約35%、ヘルメット着用率は100%であるが、正しく着用できていない例も一部に見られるため、引き続き指導にあたりたい。	清潔感のある身だしなみができている生徒がさらに増えるよう、風紀委員からの呼びかけを増やしていきたい。また、生徒会や交通安全委員会からも集会やＳＨＲの際に呼びかけを徹底することで、交通安全や規範意識の高揚を図りたい。特に校内での自転車の施錠率は、学年やクラスによってばらつきが見られたので、今後、駐輪場巡回を増やし、指導を徹底していきたい。
		生徒の健康と安全に留意し、学校全体で長期欠席や不登校生徒への早期対応を図る。生徒が経済面で心配することなく、安心して学べるよう奨学金制度についてＳＨＲ、学校のホームページやさくら連絡網を使用して案内し、支援する。防災教育を通して、防災意識の向上を図る。アンケート実施、改善率アップを目指す。 Ａ：80%以上　Ｂ：65～79% Ｃ：50%～64%　Ｄ：35～49% Ｅ：35%未満	A	学年主任、担任、教育相談課、保健厚生課員が連携して細やかな情報交換を行い、長期欠席や不登校生徒への早期対応を図っている。奨学金制度については学校のホームページやさくら連絡網などで積極的に啓発ができており、対応している。防災委員の積極的な活動で、防災意識が向上している。６校合同避難訓練、アンケートなどこれから控えている行事があるので、さらに意識の向上を目指していきたい。	学年主任、担任、教育相談課、保健厚生課員が連携して細やかな情報交換を行い、長期欠席や別室登校・不登校生徒への丁寧な対応を行い、安心して勉強できる居場所作りに努めた。奨学金制度の広報も積極的に行い、必要な家庭に十分な対応ができた。防災退避訓練の実施、６校合同避難訓練では抜き打ちの事前避難訓練を３回、訓練当日は失踪者の設定、防災学習会を行うなど我が事として主体的に取組むことができるよう工夫し、防災意識が向上した。
	人権意識の高揚	差別を無くす行動力を育てる学習内容をさらに充実させ保護者・地域との連携を強化する。 人権・同和教育研修会を充実させ、全教職員が共通の意識をもって取り組む。また、校内・校外の人権委員会活動の活性化を図るとともに、人権委員以外の参加者を増やす。人権だより「Hidamari」の感想回収率を高めるとともに、保護者の感想欄への記入内容工夫することで、生徒や保護者の人権意識高揚に役立てる。 Ａ：100～81%　Ｂ：80～61% Ｃ：60～41%　Ｄ：40～25% Ｅ：25%以下	B	全教職員を対象に人権・同和教育研修会を実施し、差別の解消に向けた個々の実践力の向上に役立てた。また、地域の研修会にも積極的に参加し、学びを他の教職員と共有している。人権の日における全校放送、「Hidamari」の発行と感想回収率も高く、「宇東差別解消宣言」の実践、人権集会での啓発活動、各学年の人権メッセージも月１実施・掲示し、生徒の人権意識の高揚を目指した。人権委員学習会の内容をホームルーム活動と連動させることで人権委員以外の参加者を増やすことができた。	教職員対象の人権・同和教育研修会、生徒と共に取り組むホームルーム活動、識字学級やタンポポスマイルへの参加の機会を設けて意見交換を図り、生徒と教員と共有して行っている。人権の日における全校放送、「Hidamari」の発行と感想回収率も高く、人権委員からの月間目標の周知徹底も積極的に行うことができた。教職員と生徒は人権意識の高揚がみられるが、保護者への人権意識の高揚を目指したい。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
心身健康で豊かな心	読書の勧め	「朝の読書」の呼び掛けやホームルーム活動において読書会を実施することで、読書指導の充実を図る。「宇中文庫Day」を設け、宇中文庫による集団読書を各クラス年間２回以上実施する。教科学習やホームルーム活動における図書館の利用を促し、読書冊数一人10冊以上を達成する。 Ａ：10冊以上　　Ｂ：9.9～8.0冊 Ｃ：7.9～6.0冊　Ｄ：5.9～3.0冊 Ｅ：2.9冊以下	A	「宇中文庫」の貸出を年２回実施し、朝の読書の時間を使った読書指導(宇中文庫 Day)や夏休みの全校一斉貸出を行った。読書会は年２回実施した。２学期末に行った図書に関するアンケートによると、読書冊数は全校平均5.9冊(昨年6.8冊)であり、「朝の読書の時間は充実しているか」の項目では、７月期よりも多い86%が充実していると回答している。図書室利用の促進のために今年度より廃棄図書委員会を開き整備を進めることができた。	今後も「朝の読書」の時間やホームルーム活動等を有効に活用し、読書の意欲向上に努めたい。例年以上に図書委員が「朝の読書」を呼び掛ける等推進を行ってきたので、継続していきたい。また、既存の図書の紹介や新着図書のお知らせの見直し、並びに図書室利用促進のため、生徒にとって安全で使いやすいものになるよう、今後も廃棄図書についても検討していきたい。
探究心・実践力の育成	わかる授業の実践	自己調整学習の視点から、学習過程の改善に努める。また、新しい時代に必要となる資質・能力の育成と学習評価の充実を図り、授業アンケートにおいて生徒の授業満足度※90%以上を目指す。さらに、授業でのＩＣＴの活用を推進し、ＩＣＥモデルを基軸とした新たな学びの研究を進める。 Ａ：100～85%　Ｂ：84～70% Ｃ： 69～50%　Ｄ：49～40% Ｅ： 40%未満 ※授業満足度は以下の方法で算出する。 （授業アンケート全体の平均点÷満点4点）×100 ＝満足度%	A	授業アンケートの「全体の平均」は3.51、満足度は88%であり、前年度同様Ａ段階となる。昨年度の課題であった「予習・授業準備」「授業に関する話題の頻度」「教師への質問」「積極的な授業への参加」に関する設問は、すべて前年度の数値を上回ることができた。今年度新たに設定した「自己調整学習」、「ICEモデルに基づく新たな学び」ついても前進していると考えられる。	来年度も「教科等横断型授業」の実践を通して、生徒の学びの多様性を保障し、教科を超えて授業改善について取り組む風土を大切にし、教育の質の向上に努めたい。また、「ICEモデルを基軸とした新たな学び」を研究し、多面的な評価を実施したい。さらに、「自己調整学習」の研究により、生徒の「自ら学ぼうとする姿勢」を育んでいきたい。また、ICT機器をより効果的に活用し、生徒の意欲、教職員のやりがい・ウェルビーイングを高め、生徒と教師が共に学ぶ学び舎であるように努めたい。
		校内外の研修(教科等横断型授業の実施含む)・研究授業に年間５回以上参加し、自己研鑽に励む。授業の相互観察等を行い、教科等横断的な授業の実践に努める。また、校内研究授業や授業研究会の計画及び実施を通して、授業力の向上を図る。 Ａ：５回以上　Ｂ：４回　　Ｃ：３回 Ｄ：２回　　Ｅ：１回以下	A	現職教育の計画に基づいた初任者並びに基礎研修者の研究授業を10回、各教科の研究授業を５回実施した。また、ＩＣＴ活用授業改善推進事業研究授業、教科等横断型やＩＣＥモデルを取り入れた授業を実施したり、多くの教員が意欲的に学校訪問等他校の公開授業に積極的に参加したりした。研修や研究授業への参加回数は、年間平均５回以上であった。	来年度も引き続いて教科内外での研鑽を図っていきたい。自教科以外の教科や学科を越えた横断型授業の計画・実施の実践、相互観察の機会を積極的に進めていきたい。基礎研修者等の研究授業者への感想（アドバイス）用紙の提出がやや少ないため、研修図書課からも促していきたいと考えている。
	学習習慣の確立	自己の学習ついて振り返る時間を定期的に確保し、目標に向かう過程や達成状況を評価させ、以降の学習の進め方を自ら調整する力を育成する。ＩＣＴ機器を有効に活用して適切な量の課題に取り組ませ、１日３時間以上の家庭学習習慣の確立を図り、継続的な学びの姿勢を育成する。 Ａ：3.0時間以上　　Ｂ：2.9～2.5時間 Ｃ：2.5～2.0時間　Ｄ：1.9～1.0時間 Ｅ：1.0時間未満	C	９月実施の学習時間調査では理数科・普通科の家庭学習時間の総平均は 170分、商業科は73分であった。昨年度と比較すると減少しているが、３年生に関しては、例年よりも増加しており、学校行事が終わり、受験生として意識づくりがうまくできているようであった。１年理普科は、毎週月曜日の７限目に、前週の学習を振り返り今週の計画を立てる時間を確保することで、自己調整力の育成を図ることができた。	EILSやTeamsなどを活用した課題配信など、学習環境の効率化をさらに進めるとともに、生徒が自走して学習できる雰囲気づくりを大切にしたい。また、本年度取り入れた１年生向けの学習を振り返る時間について、検証を行うとともに、来年度の形式について検討していきたい。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
探究心・実践力の育成	理数教育の充実	地域の未来を科学的に創造する人材の育成のため、大学や企業、海外等の外部機関との連携強化により、創造性・国際性の伸長、科学的探究の更なる充実を図る。また、教科の学びと課題研究の学びをつなげる客観的評価システムの構築を図り、探究的授業の実現を目指す。科学系コンテスト等において課題研究の出品数 150以上、40件以上の受賞や地域貢献の意識高揚を図るため地域サイエンス事業への参加数、500名以上を目指す。 （科学系コンテスト受賞） Ａ:40件以上　Ｂ:20～39件　Ｃ:15～19件 Ｄ:10～14件　Ｅ:9件以下 （地域サイエンス事業等への参加） Ａ:500名以上　Ｂ:400～499名　Ｃ:300～399名 Ｄ:200～299名　Ｅ:199名以下	Ａ	愛媛大学、滋賀大学、東京大学など複数の国内大学の他、ＴＨＫ株式会社、株式会社フジなど新たに企業との連携も始めた。海外研修は４年ぶりに現地での活動を実施した。ＩＣＲＴの活用や愛大留学生との活動を通じて現地に行く５名生徒だけでなく７６名が年間を通じマレーシアのインダプラ１校の生徒と交流・研究活動を行い国際性育成のための事業内容を充実させた。ＩＣＥモデルを基軸とした評価開発については教科等横断型授業等の場を通じて教科ＳＳ以外の教科でも広く行われた。科学系コンテスト等への出品は１５９件。うち３５件が受賞を果たした。地域サイエンス事業等には６５４名が参加。どのイベントも盛況であった。	更に国内外の大学や研究機関、企業・行政との連携の輪を広げ、新たに始まる教科ＳＳの取組、課題研究等を通じた課題発見力・科学的探究力、多面的思考力・創造力、コミュニケーション力の育成を図る。学びを可視化し、広く生かせるよう評価基準や「探究の学びシート」の開発を進める。また、卒業生メンターの活用を進めＳＳＨ校としての実績を在校生に還元するシステムを構築する。国際性育成事業については本年度の成果をもとに更に充実させ、海外校との連携を継続・展開させていく。 科学系コンテストへの出品数１６０、受賞作品は４０とする。データ・検証に基づいた科学探究の基本を重視した研究を徹底する。
	産業教育の充実	キャリア教育全体計画に基づいたキャリア指導を実践することで、ビジネスに必要な豊かな人間性と資質や情報活用能力を育成する。資格取得を奨励して全商検定１級３種目以上合格者70%以上を目指す。 Ａ：70%以上　Ｂ：69～60%　Ｃ：59～50% Ｄ：49～40%　Ｅ：40%未満	Ｃ	キャリア指導においては、インターンシップをはじめ、職場及び学校見学会の実施など、各学年において幅広く実践できた。全商検定１級３種目以上合格者は、49.5%であり、最多７種目１級合格者を１名出すことができた。総じて資格取得への意欲は高まっており、希望進路の実現に資格取得の成果が役立てられることを自覚して、生徒達は毎日の授業に前向きに取り組んでいる。	学習習慣が十分に身に付いていない生徒が増えてきたことに加えて新教育課程の施行に伴い、検定試験の出題範囲や内容も新検定に移行している。全商協会主催の検定試験の難易度は上昇の傾向にあるため、学習内容の振り返りや演習、平日補習等の指導を充実させることで対応していきたい。
魅力ある学校	生徒主体の学校行事	生徒一人ひとりが主体的に学校行事に関わることで良好な人間関係を築くことや地域や学校を愛する豊かな心を育むことができるよう学校行事満足度（普通以上）100%を目指す。 Ａ：100～95%　Ｂ：94～90% Ｃ：89～80%　Ｄ：79～60%　Ｅ：60%未満	Ａ	１学期に校内ボートレース大会と野球応援、２学期に体育祭、文化祭、クラスマッチなど生徒会が中心となり学校行事を実施した。生徒の主体的な活動の場であり生徒一人ひとりにとっても有意義な行事となった。毎年の行事ではあるが生徒会の新しい企画など生徒の考えを盛り込んで実施できたことを評価したい。	生徒会がこれまで以上に主体性を発揮し、学校行事の中で生徒たちを動かした。新しい企画も多く課題も多く出てきた。今後、評価と改善を加え来年度に繋げていきたい。
	部活動の活性化	「質の高い文武両道」を目指すなかで、生徒、教職員、保護者をはじめ、地域との連携も深め、より良い部活動運営を行い、心・技・体の調和が取れた生徒を育成する。 津島分校とのより良い部活動の連携を実現する。 四国大会に12部以上、全国大会には７部以上の出場を目指す。 （四国大会）　Ａ：12部以上　Ｂ：12～7部 Ｃ：6～4部　Ｄ：3～1部 Ｅ：出場なし	Ａ	四国大会に１２部が出場し、インターハイに７部（２３名）が出場している。国体にも体操、陸上、ボート、相撲、柔道で代表になっている。全国選抜にも剣道、柔道、ボートなどが出場する。多くの部活動がそれぞれ計画的かつ熱心に取り組んでいる。あわせて地域貢献活動を推進し、部活動単位でも地域に愛される部活動を目指している。	今後、部活動の精選や部活動改革が順次進められていく。本校は、部活動にもかなり力を注いでおり、活性化が後退することがないように検討していかなければならない。また、地域の部活動中心校でもあり、今まで以上の地域連携を図る必要がある。そのためにも地域貢献活動などはさらに充実したものにしていきたい。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
魅力ある学校	希望進路実現	望ましい職業観や勤労観を育成するとともに、生徒の能力・適性・希望を把握した就職指導を実践する。企業及び公務員情報の提供を充実させるとともに、職場見学を推奨し、早期に採用内定率100%を達成する。 Ａ：90%以上　Ｂ：89～80%　Ｃ：79～70% Ｄ：69～60%　Ｅ：60%未満	Ａ	夏季休業中に外部講師による就職ガイダンスを実施した。就職希望者に対しては、応募書類作成や面接の指導及びホームページの閲覧を含め、企業情報の提供等を行った。積極的に職場見学をさせたことで事業所への理解が深まり、学校斡旋による就職は、11月末までに就職率100%を達成することができた。また、公務員においても１０名が合格することができた。	３年振りに「職場及び学校見学会」を実施したが、職場見学への参加者が少なかった。そのため、学校での説明会への変更を検討している。２年生の早い時期から進路目標を持たせ、就職に対する意識の向上を図りたい。また、希望業種や職種、事業所など、具体的な進路希望が決定できるように情報を提供したい。引き続き、担任や教科と連携し、迅速かつ適切な進路指導に努めたい。
		「思考力・判断力・表現力」を問う入試問題の研究に努めるとともに、総合型選抜・学校推薦型選抜に向けての密な情報交換を行うことで、教員の進路指導力を向上させる。個に応じた指導の充実を図り、国公立大学100名以上を達成する。 Ａ：100名以上　Ｂ：90～99名 Ｃ：80～89名　Ｄ：70～79名 Ｅ：69名以下	Ａ	３月９日時点で国公立大学の合格者は、既に123名であり、昨年度に続いて目標を大きくクリアすることができた。総合型選抜・学校推薦型選抜等の国公立大学の合格者は48名であり、昨年度(49名)と同等の良い結果となった。全教職員による面接、小論、英作文などの個別指導の賜物であるとともに、ＳＳＨ課題研究などの成果が受験に上手くつながった結果といえる。また、前期試験の合格率が74%となり、本校伝統の最後まで粘る姿勢を今年度の生徒も見せてくれた。	新課程入試となる来年度の入試については、情報収集を怠らず、共通のデータを活用しながら、担任相互や学年団と進学課の連携を図りたい。推薦等入試については、個別指導の数が多く、教員の負担が大きくなっていることが否めないので、効率よく行えるよう計画的に行いたい。また、早期に合格を勝ち取りたいと焦る生徒に対して、自己調整をさせながらじっくりと学習に取り組ませる指導が必要である。
	ボランティア活動や地域イベントへの参加	ボランティア活動や地域イベントに関心を持ち、可能な範囲での参加を促し、広く社会に貢献し地域を愛する人材を育成する。 ボランティア活動の企画や情報提供を積極的に行う。 ボランティア活動や地域のイベントへの参加70%以上 Ａ：70%以上　Ｂ：69～55% Ｃ：54～40%　Ｄ：39～25% Ｅ：25%未満	Ａ	学校に依頼のあるイベント参加やボランティア活動に対して積極的な参加を促し、希望生徒が様々な活動に参加してくれた。。生徒たちの意識も高まっている。また、部活動においても地域貢献活動の企画し、年に数回は部活動単位でのイベント参加やボランティア活動への参加を行った。	昨年度と比べるとかなりボランティア活動や地域イベントへの参加は増えたと思う。校外からの依頼を受けての対応もあるが、学校(部活動など)から主体的に関わりを持つ地域貢献活動などは来年度も継続していきたい。生徒会が企画している校内清掃ボランティア活動のトイレクリーンなども来年度は実施時期や方法を改善し、できるだけ多くの生徒に関心を持ち、参加できる機会を増やしていきたい。
業務改善	適切な勤務時間	ＥＩＬＳやＴｅａｍｓなどＩＣＴ活用の推進やテレワーク制度の活用などを通じて勤務時間外在校時間の縮小を実現する。会議の精選等を行い、業務の効率化を推進する。月に１回の「リフレッシュデー」を設定し、定時退勤のための意識高揚を図る。	Ｃ	ＩＣＴの活用は浸透してきたが、教材の共通化などさらに校務のスリム化を図っていきたい。勤務時間外在校時間については昨年度と比較して月80時間以上の勤務時間外在校時間となる人数にあまり変化がみられず、教職員の意識を変えていきたい。	勤務時間の削減に向けて、校務分掌上の配慮等、超過勤務傾向にある教職員のサポートを行っていく。また、テレワークの効果的な活用や年次有給休暇の積極的な取得等、教職員がリフレッシュのための時間が取れるような配慮、呼びかけ等を行っていきたい。
	職場環境の整備	健康管理医による健康相談や健康講座を定期的に実施し、教職員の疲労や心理的負担の軽減を図る。教科や学年等でのコミュニケーションを密にして、メンタルヘルスケアの向上に努める。月一回整備の必要な場所を確認し改善する。	Ｂ	新型コロナウイルス感染症が第５類に分類されたこともあり、教職員間のコミュニケーションは活性化しつつある。整備の必要な箇所については順次改善されている。	密に面談等を行い、教職員の疲労や心理的負担について早期に把握し、必要な支援を行っていきたい。また、引き続き整備の必要な個所の確認を行い、改善を行っていく。

※評価は５段階（Ａ：十分な成果があった　Ｂ：かなりの成果があった　Ｃ：一応の成果があった　Ｄ：あまり成果がなかった　Ｅ：成果がなかった　）とする。

愛媛県立宇和島東高等学校	定時制	普通科
所在地 連絡先	〒798-0066　宇和島市文京町１番１号 Tel：0895-22-3482　　Fax：0895-24-0495	
ＵＲＬ	https://uwajimahigashi-h-pt.esnet.ed.jp	

スクール・ミッション　（期待される社会的役割、目指すべき学校像）

宇和島市唯一の夜間定時制高校として、学び直しなど、多様な学習ニーズに応える教育を実践します。また、学校行事等の様々な活動を通して、生徒の可能性を伸ばし、心身ともに健康で豊かな人間性を育むとともに、地域社会へ貢献できる人材を育成します。

スクール・ポリシー　（入学から卒業までの教育活動に関する三つの方針）

卒業までに育てたい生徒像

グラデュエーション・ポリシー　（育成を目指す資質・能力に関する方針）

1　**自らの人生を切り拓くことのできる人**
- 自ら学び、自ら考えて行動できる人
- 自分の個性を伸ばし、自己実現に向かうことのできる人

2　**豊かな人間性を身に付け、相手も自分も大切にできる人**
- 思いやりの心を持ち、他者を尊重できる人
- 自己肯定感を高め、自分を大切にできる人

3　**社会の一員として責任ある行動が取れる人**
- 社会人として自立した生活を送ることができる人
- よりよい社会の形成に主体的にかかわり、地域社会に貢献しようと行動できる人

何をどのように学ぶのか

カリキュラム・ポリシー　（教育課程の編成及び実施に関する方針）

1　**生徒の自己実現を図ります**
- 単位制の特色を生かし、生徒の学習ニーズに応える教育課程を編成します。
- 個々に応じた指導を行い、基礎学力の定着やバランスのとれた学力の伸長を図ります。

2　**心身ともに健康で豊かな心を育みます**
- 他者とのふれあいを大切にし、思いやりの心や豊かな人間性を育む教育を実践します。
- 学校行事を通して、一人一人の長所を引き出し、自己肯定感を高めます。
- 部活動を通して、心と体を鍛え人間力を高めます。

3　**社会的自立と社会参画の力を育みます**
- きめ細かい進路指導により、個々の希望に応じた進路実現を目指します。
- 挨拶を励行し、ルールやマナーを守る態度を育みます。

入学時に求める生徒像

アドミッション・ポリシー　（入学者の受入れに関する方針）

1　**目標を持って行動できる人**
- 本校の教育活動に関心があり、高校を卒業したいという意欲のある人
- 学び直しなど、向上心を持って学習に取り組む意欲のある人

2　**人との関わりを大切にしたい人**
- 他者を思いやり、人との関わりを大切にしたいと考えている人
- 学校行事や部活動など、教育活動に積極的に取り組みたいと考えている人

3　**自分の力や個性を伸ばしたい人**
- 高校卒業後の就職や進学などに前向きに取り組みたいと考えている人
- 自分を見つめ直し、自分の生活や特性にあった進路を実現したい人

（令和５年度）自　己　評　価　表

愛媛県立宇和島東高等学校（定時制）

学校番号　　４０

教育方針	人格の完成を目指して、敬愛・自律・進取の精神を培い、21世紀をたくましく生きぬく心身ともに健康な生徒の育成に努めます。	重点目標	日々挑戦　新しい自分との出会い

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
自己実現	わかる授業・考える力が身に付く授業の実践	生徒の授業満足度100％ Ａ：100％　Ｂ：99～90％ Ｃ：89～80％ Ｄ：79～70％ Ｅ：70％未満	B	授業満足度のアンケート結果は94％（５点満点中4.7）であった。	生徒の興味・関心や希望進路等を踏まえ、自己実現がかなう履修選択ができるよう、時間割編成等を精査するとともに、相互授業参観や各種研修を通して、教員の資質向上を図る。
		教員の授業参観・研究授業参加５回以上	B	70％の教員が５回以上参加した。	相互授業参観週間の実施時期や回数を精査するとともに、授業に関する教員間の交流の機会が増えるように工夫をする。
		教員の研修会参加５回以上	D	５回以上が40％、３回が30％、２回以下が30％であった。	各種研修の実施、教員の意識向上、業務改善による多忙化解消を目指す。
	学習習慣の確立	各教科小テスト月１回以上	B	90％の教員が月１回以上の小テストを実施している。	基礎学力定着、学習意欲向上に向けた小テストを計画的に、学習評価とも関連付けて実施するとともに、生徒の学習習慣の確立に向けて、今後も粘り強く取り組む。
心身健康で豊かな心	生徒主体の学校行事	学校行事満足度100％ Ａ：100％　Ｂ：99～90％ Ｃ：89～80％ Ｄ：79～70％ Ｅ：70％未満	B	今年度に実施した学校行事については「大変満足」「満足」を合わせると94％であった。	生徒会を中心に希望調査等を行い、生徒の要望をできるだけ反映できるように工夫する。
	一人一人の尊重及び悩み・トラブルの解消	正担任面接５回以上、副担任面接２回以上	B	正担任面接は４回以上、副担任面接は１回以上実施されている。	副担任面接については面接週間などで実施できるように検討したい。
	自分を大切にし、他人のことを考えて行動できる生徒の育成	人権侵害・いじめ防止のための取組20回以上 Ａ：20回以上 Ｂ：19～17回 Ｃ：16～14回 Ｄ：13～11回 Ｅ：10回以下	B	各課による行事後アンケートや各種面談が実施された。	各課の取組だけでなく、各自の取組を計画実行する機会を検討する。

※評価は５段階（Ａ:十分成果があった　Ｂ:かなり成果があった　Ｃ:一応の成果があった　Ｄ:あまり成果がなかった　Ｅ:成果がなかった）

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
心身健康で豊かな心	基本的生活習慣の定着	年度末出席率90％以上 Ａ：90％以上 Ｂ：89～80％ Ｃ：79～70％ Ｄ：69～60％ Ｅ：60％未満	Ｂ	１月末までの集計結果は、88.7％であった。	生徒一人一人に寄り添った支援を今後も継続し、充実させる。
	コミュニケーション能力・表現力の向上	生徒生活体験発表の指導の充実・県大会入賞（４位以内）	Ｅ	県大会への出場が０名という結果であった。来年度以降、指導方法の改善をする必要がある。	作文作成を通して個々の生徒が成長を感じられるような取組や、指導形態の改善を図りたい。
	部活動の充実	県定通総体参加率90％以上 Ａ：90％以上 Ｂ：89～80％ Ｃ：79～70％ Ｄ：69～60％ Ｅ：60％未満	Ｂ	応援での参加生徒、学校待機での応援生徒を含めて80％であった。	競技の楽しさを理解させることにより、自発的に選手として参加するように促す。
		部活動重点活動日における生徒参加率60％以上 Ａ：60％以上 Ｂ：59～55％ Ｃ：54～50％ Ｄ：49～45％ Ｅ：45％未満	Ｂ	今年度の集計結果は55％であった。個人別では、参加率が６割を超える生徒は15名であった。	各顧問と連携し、積極的に参加できる雰囲気づくりを行う。
社会的自立と社会参画	人や社会とのつながりを大切にする態度の育成	挨拶の励行と式典での正装率100％ Ａ：100％ Ｂ：99～90％ Ｃ：89～80％ Ｄ：79～70％ Ｅ：70％未満	Ａ	式典での正装率は100％であった。挨拶の励行については、ほとんどの生徒ができていた。	正装については、引き続き指導の徹底を図る。挨拶については、教員から積極的な挨拶や声掛けを行う。
	希望進路の実現	進路指導講話４回以上	Ｂ	１月末までに、進路セミナー１回、講話２回を実施済み。３月にそれぞれ１回ずつ実施を予定しており、年度内に合計５回実施見込みである。	生徒の進路意識を高め、前向きな姿勢を醸成する内容を準備し、事後の指導を通して生徒の状況を把握するように努める。
		就職希望者及び進学希望者の進路決定率100％ Ａ：100％ Ｂ：99～85％ Ｃ：84～70％ Ｄ：69～55％ Ｅ：55％未満	Ｂ	１月末までの集計で、進学希望者４名、就職希望者１名合格であった。フリーターが３名である。	生徒の進路希望を定期的に把握し、きめ細かな指導を行うことで第一希望全員合格を目指す。

※評価は５段階（Ａ:十分成果があった Ｂ:かなり成果があった Ｃ:一応の成果があった Ｄ:あまり成果がなかった Ｅ:成果がなかった）

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
社会的自立と社会参画	地域社会に貢献する態度の育成	ボランティア活動２回以上参加100％ Ａ：100％　Ｂ：99～90％ Ｃ：89～80％　Ｄ：79～70％ Ｅ：70％未満	Ｃ	１月末までに、９回実施し、２回以上活動に参加した生徒は82％、１回以上活動に参加した生徒は87％であった。	生徒が参加したい活動を取り入れるために、生徒の意見を聞き、内容を考えていきたい。
業務改善	適切な勤務時間	１か月の時間外勤務時間の合計30時間以内100％ Ａ：100％　Ｂ：99～90％ Ｃ：89～80％　Ｄ：79～70％ Ｅ：70％未満	Ｂ	年間通して90%の教員が目標を達成できている良好な状態である。しかし、時期によっては、時間外勤務時間が増加する時もあった。	時期によっては、特定の課に業務が集中することがあるので、業務の分担や学校行事の時期を再検討するなど、対策を講じていきたい。
	ワーク・ライフ・バランスの適正化	ワーク・ライフ・バランスが取れていると感じる教職員の割合100％ Ａ：100％　Ｂ：99～90％ Ｃ：89～80％　Ｄ：79～70％ Ｅ：70％未満	Ｂ	アンケート結果によると、上半期はすべての教員が目標を達成していたが、上半期は90％となり、若干減少した。	業務において相談したり協力したりしやすい風通しのよい職場をつくることで、業務の効率化を図るとともに、仕事にやりがいを感じられるようにしていきたい。

※評価は５段階（Ａ:十分成果があった　Ｂ:かなり成果があった　Ｃ:一応の成果があった　Ｄ:あまり成果がなかった　Ｅ:成果がなかった）

資料１　学校評価アンケート

令和５年度　アンケート集計結果

○　表の見方

増減

対前年比の差を調べ、差にプラスの特徴が見られる場合は「0.1」などと記入している。差にマイナスの特徴が見られる場合は「-0.1」などと記入している。空欄のところは顕著な傾向が見られないところである。

評価（数値）

５　・・・ よくできている	５　・・・ 十分満足できる
４　・・・ だいたいできている	４　・・・ ほぼ満足できる
３　・・・ できているところもあるが できていないところもある	３　・・・ 満足できるところもあるが 努力を要するところもある
２　・・・ あまりできていない	２　・・・ 努力を要する
１　・・・ できていない	１　・・・ 大変努力を要する

令和５年度　アンケート集計結果（教職員）

教 職 員

	R05	R04
標準偏差	0.23	0.21
全体平均	4.11	3.76

※令和4年度以降インターネットによりアンケートを実施

	分析担当課	評価項目	総計 5	4	3	2	1	R05 評価	増減	R04 評価
学校経営・教育目標	管理職・全課	1 教育活動全般について，生徒や保護者の願いによく応えているか。	32.1%	50.9%	17.0%	0.0%	0.0%	4.2	↑	3.7
	管理職・全課	2 学校教育目標・経営方針が学科・学年・教科等に周知されていて，よく実践されているか。	24.5%	58.5%	13.2%	3.8%	0.0%	4.0		3.7
	管理職・全課	3 校長は自らの教育理念や学校運営についての考え方を明らかにしているか。	64.8%	29.6%	5.6%	0.0%	0.0%	4.6		4.2
	管理職・全課	4 日々の教育活動における問題意識や悩みについて，気軽に相談しあえるような職場の人間関係ができているか。	13.0%	51.9%	31.5%	1.9%	1.9%	3.7		3.4
	管理職・全課	5 教職員への服務規律の意識を高める努力をしているか。	31.5%	50.0%	16.7%	1.9%	0.0%	4.1		3.9
	研修図書	6 教科会や校内研究授業等で授業方法について検討するなど教科指導力の向上に努めているか。	41.2%	41.2%	15.7%	2.0%	0.0%	4.2		3.9
教育課程	管理職・教務	7 多様な教科・科目を設けて生徒の興味・関心に応える工夫をしているか。	33.3%	51.0%	13.7%	2.0%	0.0%	4.2		3.9
	教務・進学・就職	8 生徒の進路目標を達成できるように配慮した適切な類型が設定されているか。	33.3%	58.8%	7.8%	0.0%	0.0%	4.3	↑	3.8
教科指導・評価・図書	研修図書・教務	9 あなたは、わかる授業の展開を心がけているか。	39.2%	52.9%	5.9%	2.0%	0.0%	4.3		4.0
	研修図書・教務	10 あなたは、教科指導のために積極的に研修に励むなど、十分な教材研究をしているか。	32.0%	48.0%	20.0%	0.0%	0.0%	4.1		3.8
	研修図書・教務	11 あなたは、適切な評価ができていると思うか。	17.6%	54.9%	23.5%	3.9%	0.0%	3.9		3.8
	研修図書・教務	12 あなたは、生徒が授業に自主的・積極的に参加するよう指導方法を工夫しているか。	29.4%	51.0%	19.6%	0.0%	0.0%	4.1		3.8
	研修図書	13 生徒や教師が利用しやすい図書館施設になっているか。	22.6%	49.1%	24.5%	3.8%	0.0%	3.9		3.8
ホームルーム運営・生徒指導	生徒指導・教務	14 遅刻・無断欠課・無断欠席等の防止指導が協力してできているか。	27.5%	51.0%	19.6%	2.0%	0.0%	4.0		3.8
	生徒指導	15 生徒指導において、ホームルーム担任と各教科担任との連携が円滑に行われているか。	25.5%	52.9%	17.6%	3.9%	0.0%	4.0		3.7
	生徒指導	16 身だしなみ指導について、共通理解のもと一致協力して指導できているか。	21.6%	56.9%	19.6%	2.0%	0.0%	4.0	↑	3.6
	教育相談	17 あなたは、日常生活のあらゆる場面において、カウンセリングマインドをもって、生徒理解に努めているか。	39.2%	51.0%	9.8%	0.0%	0.0%	4.3	↑	3.9
	生徒指導	18 家庭訪問や電話連絡等、家庭との緊密な連携を心がけているか。	34.7%	44.9%	20.4%	0.0%	0.0%	4.1		3.8
学校行事・特別活動	特活	19 生徒会活動は、生徒が自主的に活動できるように企画されているか。	40.4%	44.2%	15.4%	0.0%	0.0%	4.3	↑↑	3.7
	特活・総務	20 学校行事は、生徒の主体的・自主的に活動ができるよう配慮され工夫されているか。	40.4%	48.1%	9.6%	1.9%	0.0%	4.3	↑↑	3.7
	特活・総務	21 学校行事の日程は、生徒たちの学校生活に無理なく計画されているか。	21.2%	34.6%	36.5%	7.7%	0.0%	3.7	↑	3.3
同和・人権	人権同和	22 生徒一人一人が人権意識を持ち、同和問題をはじめとする様々な人権問題に主体的に取り組むことができるよう、指導できているか。	39.2%	47.1%	13.7%	0.0%	0.0%	4.3	↑	3.9
進路指導・就職指導	進学・就職	23 「進路のしおり」「進学のしおり」「道程」等は生徒が進路を考える上で役に立っているか。	39.2%	45.1%	11.8%	3.9%	0.0%	4.2		4.0
	進学・就職	24 学校の行う「進路説明会」「SHR交流会」等は生徒にとって役に立っているか。	31.4%	52.9%	11.8%	3.9%	0.0%	4.1		4.0
	進学・就職	25 各教室に設置してある進路資料、情報誌等を生徒が活用し役に立っているか。	15.7%	58.8%	21.6%	2.0%	2.0%	3.8		3.6
	進学・就職	26 ホームルーム担任による個別面談は生徒の進路決定に役立っているか。	51.0%	44.9%	4.1%	0.0%	0.0%	4.5	↑↑	3.9
	進学・就職	27 就職課、進学課と各学年の連携が円滑に行われているか。	35.3%	51.0%	9.8%	2.0%	2.0%	4.2		3.9
	進学・就職	28 進路指導において、ホームルーム担任と各教科担任との連携が円滑に行われているか。	25.5%	58.8%	15.7%	0.0%	0.0%	4.1		3.7
	進学・就職	29 「家庭学習時間調査」は、生徒が家庭学習時間を増やす上で役に立っているか。	12.0%	46.0%	30.0%	10.0%	2.0%	3.6		3.4
	進学・就職	30 進路に応じたきめ細かい指導がなされているか。	37.3%	49.0%	11.8%	0.0%	2.0%	4.2		3.9
保健・環境	教育相談・保健	31 生徒や教師自身の心身の健康について、気軽に保健室や教育相談課に相談できているか。	43.1%	47.1%	7.8%	2.0%	0.0%	4.3	↑	3.9
	教育相談・保健	32 あなたは、生徒の心身の健康観察に努め、必要なときには保健室や教育相談課との情報交換がなされているか。	38.0%	56.0%	6.0%	0.0%	0.0%	4.3		4.0
	環境・事務	33 生徒の生活の場として、ゆとりと潤いのある教育環境が整備されているか。	13.2%	47.2%	30.2%	7.5%	1.9%	3.6	↑	3.2
	教務・環境・事務	34 教育活動の円滑な推進のため、設備や教材教具が適正に配置され、十分に活用されているか。	24.5%	64.2%	9.4%	1.9%	0.0%	4.1		3.7

令和5年度 アンケート集計結果（生徒）

生　　徒

	R05	R04
標準偏差	0.24	0.37
全体平均	3.94	3.90

※令和4年度以降インターネットによりアンケートを実施

	分析担当課		評　価　項　目	総計 5	4	3	2	1	R05 評価	増減	R04 評価
教育活動全般	管理職・全課	1	あなたは、本校の校訓の意味を理解していますか。	29.4%	39.4%	20.0%	9.7%	1.6%	3.9		3.6
	管理職・全課	2	あなたは、本校では文武両道などの特色ある教育活動が行われていると思いますか。	38.5%	33.4%	17.1%	9.5%	1.5%	4.0		3.8
	管理職・全課	3	あなたは、現在の学校生活に満足していますか。	31.3%	39.9%	17.6%	9.5%	1.9%	3.9		3.7
学習態度・内容理解・評価	研修図書・教務	4	予習・復習といった家庭学習を行うなど、計画的・自主的な取り組みができていますか。	16.8%	37.1%	33.5%	9.9%	2.7%	3.6		3.3
	研修図書・教務	5	授業内容は理解できていますか。	18.5%	47.1%	24.3%	9.6%	0.5%	3.7		3.6
	研修図書・教務	6	わかる授業への取り組みや工夫がなされていると思いますか。	29.5%	40.9%	20.2%	9.3%	0.2%	3.9		3.7
	研修図書・教務	7	授業で、自分の考えをまとめ、発表する機会はよくありますか。	24.1%	38.8%	26.4%	9.7%	1.0%	3.8		3.6
	研修図書・教務	8	自分の学習成果が正しく評価されていると思いますか。	42.7%	37.4%	10.8%	9.1%	0.0%	4.1		4.0
図書館	研修図書	9	図書館の利用について（令和４年度から以下の通り、具体的な質問に変更） ５：授業以外でも図書館を利用したことがある。 ４：授業で図書館を利用したことがあり、クラス配布の宇中文庫も読んだ。 ３：授業で図書館を利用したことがあるが、宇中文庫は読んでいない。 ２：図書館を利用したことはないが、宇中文庫は読んだ。 １：図書館を利用したことはなく、宇中文庫も読んでいない。	19.4%	20.8%	40.8%	10.3%	8.7%	3.3	↓↓	3.9
	研修図書	10	図書館には読みたい本がそろえられていますか。	17.2%	30.1%	37.0%	10.2%	5.5%	3.4	↑↑	2.8
生徒指導	生徒指導	11	身だしなみなどの不備ある生徒に対して、複数の先生が指摘していますか。	33.1%	36.8%	19.1%	9.4%	1.7%	3.9		3.7
	生徒指導	12	あなたは、気持ちの良い挨拶ができていますか。	31.2%	38.3%	21.1%	9.3%	0.2%	3.9		4.0
	生徒指導	13	あなたは、端正な身だしなみができていますか。	53.0%	30.0%	7.7%	9.2%	0.2%	4.3		4.3
生徒理解	教育相談	14	学校で、悩みなどを相談できるところ（教育相談室や保健室）があることを知っていますか。	31.2%	38.3%	21.1%	9.3%	0.2%	3.9		4.0
	教育相談	15	担任の先生は自分のことを理解してくれていると思いますか。	53.0%	30.0%	7.7%	9.2%	0.2%	4.3		4.3
	教育相談・特活	16	部顧問の先生は自分のことを理解してくれていると思いますか。	54.6%	23.8%	10.0%	9.5%	2.2%	4.2		4.2
	教育相談・研修	17	各教科担任の先生は自分のことを理解してくれていると思いますか。	42.2%	33.3%	14.3%	9.2%	1.0%	4.1		4.0
特別活動・学校行事	特活	18	生徒会活動は自分たちが自主的に活動できるよう企画されていると思いますか。	39.8%	30.0%	18.3%	9.4%	2.5%	4.0		3.8
	特活・総務	19	学校行事に自分たちが主体的・自主的に活動できていますか。	29.3%	35.0%	25.8%	9.4%	0.5%	3.8		3.6
	特活・総務	20	学校行事は、望ましい人間関係を形成し、愛校心を高めるものとなっていると思いますか。	45.6%	30.6%	13.7%	9.2%	1.0%	4.1	↑	3.6
同和人権	人権同和	21	一人一人が人権意識を持ち、同和問題をはじめとする様々な人権問題に主体的に取り組むことができる授業やホームルーム活動が実施されていますか。	47.0%	30.6%	13.1%	9.2%	0.2%	4.2	↑	3.8
進学・就職	進学・就職	22	「進路のしおり」「進学のしおり」「道程」等は進路を考える上で役に立っていますか。	47.1%	30.7%	12.4%	9.3%	0.5%	4.1		3.9
	進学・就職	23	学校の行う「進路説明会」「進路講演会」「SHR交流会」等は進路を考える上で役に立っていますか。	48.4%	32.1%	10.0%	9.2%	0.3%	4.2		4.2
	進学・就職	24	各教室に配布してある進路資料、情報誌は役に立っていますか。	35.7%	33.5%	19.1%	9.4%	2.3%	3.9		3.7
	進学・就職	25	ホームルーム担任の個別面談による進路相談は役に立っていますか。	33.1%	31.6%	22.0%	9.5%	3.9%	3.8		3.7
	進学・就職	26	「家庭学習状況調査」は自分を見直したり、家庭学習を確立するのに役立っていますか。	31.4%	33.3%	22.9%	9.7%	2.8%	3.8		3.5
保健・環境	保健厚生	27	保健室は体調が悪い時などに利用しやすくなっていますか。	48.9%	27.6%	13.3%	9.3%	0.8%	4.1		4.1
	保健厚生	28	「保健だより」に毎月、目を通していますか。	29.6%	34.4%	23.4%	9.9%	2.7%	3.8		3.5
	環境・事務	29	学校が生活の場として、ゆとりや潤いのある環境に整えられていますか。	53.9%	25.8%	10.1%	9.3%	0.8%	4.2		4.0

令和５年度　アンケート集計結果（保護者）　　回答率　66.4　％　（昨年　42.3%）

保 護 者

※令和4年度以降インターネットによりアンケートを実施

			R05	R04
		標準偏差	0.18	0.14
		全体平均	3.63	3.75

	分析担当課	評価項目	総計 5	4	3	2	1	R05 評価	増減	R04 評価
学校経営・教育目標	管理職・全課	1 学校では文武両道など特色ある教育活動が行われていますか。	30.0%	37.4%	27.5%	4.0%	1.1%	3.9		3.8
	管理職・全課	2 学校は保護者・地域の願いに応えていますか。	14.9%	36.6%	37.5%	9.6%	1.3%	3.5		3.4
	管理職・全課	3 学校は家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っていると思いますか。	17.5%	36.0%	33.4%	10.9%	2.1%	3.6		3.5
	管理職・全課	4 お子さんは学校生活に満足していると思いますか。	23.8%	41.5%	26.6%	6.4%	1.7%	3.8		3.7
	管理職・全課	5 あなたは、学校行事（保護者懇談会・体育祭・文化祭など）に参加されますか。	27.0%	38.5%	24.5%	8.3%	1.7%	3.8	↑	3.3
	管理職・全課	6 ＰＴＡ総会等の会合を通じて教育活動全般について分かりやすく説明されていますか。	9.8%	35.5%	43.8%	9.2%	1.7%	3.4		3.2
教育課程	管理職・教務	7 多様な教科・科目を設けて、生徒の興味・関心に応える工夫がなされていると思いますか。	13.2%	39.6%	37.9%	7.5%	1.7%	3.6		3.5
	教務・進学就職	8 教育課程は学科の特色を具現化する編成となっていると思いますか。	12.3%	41.3%	38.7%	6.4%	1.3%	3.6		3.5
	就職・進学	9 ボランティアや就業にかかわる体験的な学習の充実が図られていると思いますか。	12.5%	34.5%	41.5%	9.8%	1.7%	3.5		3.2
教科指導	教務・進学就職	10 生徒の進路目標を達成できるように配慮した適切な類型が設定されていると思いますか。	16.2%	40.6%	35.8%	5.7%	1.7%	3.6		3.6
	教務・進学	11 「わかる授業」を心掛けた教科指導が行われていると思いますか。	10.0%	33.2%	41.7%	11.7%	3.4%	3.3		3.3
	教務	12 お子さんの家庭学習は十分に行われていますか。	12.5%	27.9%	40.8%	15.1%	3.8%	3.3		3.2
生徒指導ホームルーム運営	生徒指導	13 生徒指導が組織的に行われていることが、伝わりますか。	12.8%	32.8%	41.3%	9.8%	3.2%	3.4		3.2
	生徒指導	14 遅刻・無断欠課・無断欠席等の防止指導が行き届いていますか。	21.1%	43.0%	29.6%	4.9%	1.3%	3.8		3.6
	生徒指導	15 身だしなみ指導についての指導方針が、伝わりますか。	19.6%	38.7%	31.9%	6.8%	3.0%	3.7		3.5
	生徒指導	16 正しい言葉づかいやあいさつ指導が行き届いていると思いますか。	17.4%	43.0%	32.8%	5.1%	1.7%	3.7		3.6
	生徒指導	17 交通安全の指導が適切に行われていますか。	14.9%	38.9%	37.7%	6.0%	2.5%	3.6		3.4
	生徒指導	18 問題行動の未然防止のための指導が行き届いていると思いますか。	13.8%	38.9%	37.7%	7.4%	2.3%	3.5		3.4
教育相談家庭との連携	教育相談	19 学校のことについて、お子さんと会話をされますか。	35.7%	37.4%	20.8%	5.1%	1.1%	4.0		4.0
	教育相談	20 教師のことについて、お子さんと会話をされますか。	27.7%	33.4%	26.4%	9.8%	2.6%	3.7		3.7
	教育相談	21 お子さんのことについて、相談できる体制が学校にあると思いますか。	16.2%	34.0%	38.3%	8.7%	2.8%	3.5		3.4
	生徒指導特活	22 学校（担任・部活動顧問等）からの連絡（文書・電話等）がありますか。	23.2%	33.4%	27.7%	10.8%	4.9%	3.6		3.6
学校経営	管理職・全課	23 お子さんが持ち帰る文書により、学校のことが理解できますか。	16.8%	36.2%	35.3%	9.4%	2.3%	3.6		3.5
特別活動学校行事	特活	24 生徒会活動は、子どもたちが自主的に活動できるように企画されていると思いますか。	19.2%	39.4%	35.7%	4.7%	0.9%	3.7		3.4
	特活	25 学校行事は、子どもたちが主体的・自主的に活動できていると思いますか。	24.5%	45.8%	24.5%	4.2%	0.9%	3.9	↑	3.5
	特活	26 学校行事の日程は、子どもたちの学校生活に無理なく計画されていると思いますか。	15.7%	39.4%	34.2%	8.9%	1.9%	3.6	↑	3.2
	特活	27 部活動は、子どもたちが主体的・意欲的に取り組めるよう計画的に行われていると思いますか。	18.1%	37.7%	34.7%	6.4%	3.0%	3.6		3.5
	特活・事務	28 学校は、部活動の場所・施設・設備等の条件整備を行い、部活動が効率的に行えるよう配慮していると思いますか。	16.0%	37.0%	35.5%	7.5%	4.0%	3.5		3.4
人権同和	人権同和	29 子どもたちが、差別の本質を理解し、その実態や背景を科学的に学べるような人権教育が行われていると思いますか。	17.5%	44.0%	32.5%	4.7%	1.3%	3.7		3.6
進学指導就職指導	進学・就職	30 「進路のしおり」「進学のしおり」「道程」等は子どもたちが進路を考える上で役立っていますか。	16.4%	37.0%	37.2%	7.7%	1.7%	3.6		3.5
	進学・就職	31 進路に関する情報が提供されていますか。	14.2%	35.1%	38.3%	10.0%	2.5%	3.5		3.4
	進学・就職	32 進路に応じたきめ細かい指導がなされていると思いますか。	14.3%	35.1%	36.8%	10.4%	3.4%	3.5		3.4
保健・環境	保健教育相談	33 お子さんの心身の健康について、気軽に学校に相談できますか。	16.2%	33.2%	33.0%	11.5%	6.0%	3.4		3.3
	保健厚生	34 お子さんの健康診断の結果を把握できていますか。	35.7%	37.2%	22.1%	3.4%	1.7%	4.0		3.9
	生徒指導	35 お子さんは通学時、交通ルールを遵守していると思いますか。	33.6%	44.0%	20.6%	1.7%	0.2%	4.1		4.1
	保健厚生	36 防災・救急・防犯体制は周知され、適切に運営されていると思いますか。	17.0%	45.3%	33.2%	3.6%	0.9%	3.7		3.6
	保健・事務	37 学校がお子さんの生活の場として、ゆとりや潤いのある環境に整えられていると思いますか。	14.0%	35.7%	36.4%	10.9%	3.0%	3.5		3.3
	保健・事務	38 教育活動を円滑に推進するため、学校の設備や教材教具が適正に配置され、十分に活用されていると思いますか。	12.5%	38.3%	38.9%	7.7%	2.6%	3.5		3.4
	保健・特活	39 環境保全やボランティア活動等、地域社会と連携した活動が学校で奨励され、実行されていると思いますか。	14.3%	38.7%	40.4%	5.1%	1.5%	3.6		3.4

資料２　授業に対するアンケート

令和５年度　授業アンケート集計結果

※ 下段のカッコ内数値は令和4年度の結果

① 予習をしたり、授業の始まる前に移動したりするなど、十分な準備をして授業に臨んでいる。

４ …	３ …	２ …	１ …
50.7 %	43.8 %	4.9 %	0.6 %
(52.7)	(41.5)	(5.0)	(0.8)

② 自分で発展的な内容を学習したり、友人と話し合ったりできる程度まで、授業内容が理解できている。

４ …	３ …	２ …	１ …
44.0 %	47.2 %	7.9 %	0.9 %
(43.5)	(48.5)	(7.3)	(0.8)

③ 疑問点があれば友人や先生に質問をしたり、自分で調べたりする程度まで、授業内容に興味・関心を持っている。

４ …	３ …	２ …	１ …
45.5 %	45.7 %	7.9 %	0.9 %
(44.9)	(46.5)	(7.4)	(1.1)

④ 学習内容をノートやワークシートにまとめたり、グループ活動で自分の意見を進んで述べたりするなど、積極的に授業に臨んでいる。

４ …	３ …	２ …	１ …
54.1 %	39.3 %	5.9 %	0.7 %
(51.0)	(43.1)	(5.2)	(0.7)

⑤ 課題は、自分の力で考えて解答したものを、期限内に提出している。

４ …	３ …	２ …	１ …
62.9 %	29.5 %	6.5 %	1.0 %
(64.7)	(30.7)	(3.8)	(0.8)

⑥ 定期考査や模試・検定の結果から、学力が身に付いてきていると感じる。

⑥ 授業で学んだ知識や習得した技能が、自分の日常生活の中で活用できたり、自分の視野を広げたりして、楽しく充実した生活を送ることに役立っていると感じる。

４ …	３ …	２ …	１ …
49.6 %	41.9 %	7.6 %	0.9 %
(49.0)	(43.3)	(6.7)	(1.0)

⑦ 教師による板書や提示される資料、説明の仕方は、授業内容を理解できるように工夫されている。

４ …	３ …	２ …	１ …
67.5 %	28.8 %	3.2 %	0.5 %
(62.2)	(32.8)	(3.9)	(1.0)

⑧ 授業中、適切な指導や声かけなどをすることによって、すべての生徒が授業に集中できる雰囲気を作ろうとする教師の熱意を感じる。

４ …	３ …	２ …	１ …
68.8 %	27.7 %	3.1 %	0.4 %
(63.9)	(31.6)	(3.7)	(0.9)

⑨ 一方的な説明ばかりでなく、思考が深まる問いがあり、自分で考えたり友達と意見交換をしたりする時間がある。

４ …	３ …	２ …	１ …
66.4 %	29.2 %	3.7 %	0.7 %
(62.1)	(31.2)	(5.3)	(1.4)

⑩ 授業における自分の学習活動が、授業中や定期考査などによって、教師から適切に評価されていると感じる。

４ …	３ …	２ …	１ …
71.3 %	26.6 %	1.6 %	0.4 %
(67.7)	(30.0)	(1.8)	(0.5)

授業評価アンケート　Ｗｅｂ入力画面(一部抜粋)

令和5年度　授業評価アンケート（3年ビジネス情報管理）R5.12実施

1. 予習をしたり、授業の始まる前に移動したりするなど、十分な準備をして授業に臨んでいる。*

★★★★　そう思う
★★★☆　どちらかといえばそう思う
★★☆☆　どちらかといえばそう思わない
★☆☆☆　思わない

☆ ☆ ☆ ☆

2. 自分で発展的な内容を学習したり、友人と話し合ったりできる程度まで、授業内容が理解できている。*

★★★★　そう思う
★★★☆　どちらかといえばそう思う
★★☆☆　どちらかといえばそう思わない
★☆☆☆　思わない

☆ ☆ ☆ ☆

3. 疑問点があれば友人や先生に質問したり、自分で調べたりする程度まで、授業内容に関心・興味を持っている。*

★★★★　そう思う
★★★☆　どちらかといえばそう思う
★★☆☆　どちらかといえばそう思わない
★☆☆☆　思わない

☆ ☆ ☆ ☆

4. 学習内容をノートやワークシートにまとめたり、グループ活動で自分の意見を進んで述べたりするなど、積極的に授業に臨んでいる。*

★★★★　そう思う
★★★☆　どちらかといえばそう思う
★★☆☆　どちらかといえばそう思わない
★☆☆☆　思わない

☆ ☆ ☆ ☆

学校評価アンケート結果の分析と改善策

令和５年度　学校評価アンケート結果の分析と改善策（教職員・生徒・保護者）

【総務課】

教職員　昨年５月に新型コロナウイルス感染症の位置付けが「５類感染症」に移行したことにより、これまで制限されてきた学校行事も積極的に実施できるようになった。それに伴い、今年度はボートレース大会をはじめ、体育祭や文化祭等、各種学校行事において、生徒達が教職員とともに企画・運営の段階から積極的に参加できる機会を増やすことができた。

各種行事を通じて学校全体に一体感が生まれ、愛校心を育む良い機会ともなった。これらも要因となり、項目 20、項目 21 の評価向上につながったと考えられる。コロナ禍にあっても行事日程や実施内容、方法を工夫しながら生徒たちが積極的に参加できる環境づくりに努めてきたことが奏功した。

生　徒　昨年に比べ項目 19 は 0.2 ポイント、項目 20 は 0.5 ポイント評価が向上している。校内ボートレース大会や体育祭、文化祭など生徒たちが準備から運営まで主体的かつ自主的に取り組んでいる様子もうかがえる。次年度も学校行事が人間形成や愛校心を醸成する機会となるよう工夫したい。

保護者　昨年同様に校の教育活動全般に、一定の理解と協力が得られていると考えられるが、引き続きＰＴＡ活動が円滑なものとなるよう工夫をしていきたい。昨年度からアンケートを生徒は学習用端末、保護者及び教職員はＰＣまたはスマートフォン等で実施している。生徒のアンケートは、ＳＨＲ等で回答する時間を設けて実施しているため、回答率は高かった。また、昨年度低かった保護者アンケートの回収率は、今年度は 66.4%に向上した。これは各担任から生徒を通じての呼びかけやアンケートのＱＲコードを紙媒体で各家庭に配布するとともに、保護者懇談会の際にも御案内いただくことで、回収率が向上したと考えられる。今後も学校からの情報発信を積極的に行い、学校運営に関する理解を深めていただくとともに評価方法についても研鑽を重ねたい。

【教務課】

教職員　多様な教科・科目の設定について、前年同様の高い評価になっているのは、各教科会において熱心な研究がなされ、また、より良い教育課程の編さんに向けて教科間で話し合ってきた取組の成果であると考える。

それ以外の項目について、昨年度は一昨年度を下回る結果になっていたが、全ての項目において昨年度を上回る結果が得られた。昨年度の結果から改善が必要であった「生徒が自主的・積極的に参加する指導方法の工夫」において評価の向上が見られた。年間を通して全教員が「教科等横断型授業」を実施することで、職員間において教科を超えて授業について話し合い、恒常的に授業改善を行う風土が醸成されているものと捉えられる。

適切な評価や教材研究、分かる授業の展開の自己評価のついても前年度からの向上が見られた。導入されて２年目となる観点別評価の実施について時間を費やしてきた評価方法の研究が実を結びつつあると捉えられる。先生方の自己評価の向上を、教職員の授業実践に対するやりがい・ウェルビー

イングの向上と捉え、指導と評価の一体化のための先生方の取組がさらに効率よく行われるように、より効果的なシステムづくりを研究し改善したい。

生　徒　「計画的・自主的な取組」に対する自己評価において、昨年度の 3.3 ポイントが 3.6 ポイントとなり 0.3 ポイントの向上が見られた。生徒の「主体的に学ぼうとする態度」、「自己肯定感」をさらに高められるよう、生徒のやる気を引き出す指導方法・関わり方を研究していきたい。提出物や小テストの指導などにおいても、画一的な一斉指導から、生徒一人一人が自己の目標を達成するために、自分のペースで学習が行えるように「自己調整学習」の研究・実践に努めたい。

保護者　家庭学習と多様な科目設定による生徒の興味・関心にこたえる工夫の項目において、両項目とも前年より向上が見られたが、これからも継続して研究し、改善に努めなければならない。上記の分析・改善策と同様になるが、生徒が自己の目標の実現に向けて自主的・積極的に学習に取り組むことができるようになるために、「自己調整学習」の研究をしなければならない。

【生徒指導課】

教職員　全体的に昨年より評価が向上している。今年度は校則の見直しを行った１年目であり、戸惑いはあったかと思うが、教職員間での共通理解の下、協力して身だしなみ指導を行うなど、連携して生徒指導に携わることができたと考えている。

生　徒　ほぼ昨年同様の数値となっている。「気持ちの良い挨拶、端正な身だしなみ」ができているという生徒が大半である。今後も生徒会と連携しながらより良い学校づくりを目指していきたい。

保護者　項目 17「交通安全の指導が適切に行われていますか」について、昨年より数値が向上している。交通安全指導は毎年、校内外で地道に行っており、交通安全委員会の生徒たちも活発に活動を続けてくれている。保護者にも理解いただけるように、さらに活動していきたい。

【特活課】

教職員　教職員の働き方改革として部活動において、毎月の活動計画に沿って実施していただいた。また、部活動単位での地域貢献活動を取り入れ、地域との連携も視野に入れて取り組んでいただいた。今後、部活動改革に伴う部の精選などを行い、教職員の負担軽減と部活動の活性化のバランスを保てるようにしていきたい。

学校行事においても教職員の負担は多く、限られた時間の中で生徒のためにと頑張っていただいた。新型コロナウイルス感染症の５類感染症への移行後の対応について理解が不十分なまま実施したことなど反省し、改善していきたい。周年行事も近づいており、今後の学校行事の在り方を問う時期にあると思う。

生　徒　部活動においては、総じて計画的に目標に向けて主体的な取組ができており、その成果も十分表れている。今後も顧問と生徒、保護者が連携して取り組めるよう情報交換ができる関係を大切にしたい。

学校行事においては、生徒会の新たな取組がいろいろな場面でみられ、生徒たちにとっては高評価の面も多々あった。新たな挑戦であり、失敗も問題点もたくさんあった。大切なのはこの後の評価で改善点を明確にし、来年度に繋げていくことだと思う。また、関係者との連携が不十分のところもあるので気を付けたい。

保護者　部活動は、保護者をはじめ、多方面の方々に協力をいただき成り立っているので、今後も顧問との連携を密にしていく必要がある。本校は文武両道をモットーに学習面にも注力しているので、その点でも理解が得られるよう情報の共有を図りたい。

学校行事においては、ボートレース大会、体育祭、文化祭においてＰＴＡの方に多大な協力をいただいた。今後も保護者の方が気軽に学校行事の観覧や参加ができるよう対応していきたい。

【進学課】

教職員　項目２９の家庭学習時間については、昨年度より生徒への情報提供を止めており、学校評価のために実施している。すなわち、本アンケートから項目をなくさねばならない。アンケート項目については、毎年見直しが必要であり実施する前に各課に相談をしてもらいたい。項目２６、２８、３０について昨年度よりも評価が大きく上がっていることについては、ひとえに HR 担任、教科担任の先生方の普段からの御指導の賜物である。項目２５の各教室に設置する資料や情報誌については、予算の関係もあるが、担任からの御意見を聞いて改善していきたい。

生　徒　すべての項目で昨年度より評価が上がっていることは、担任および学年団の先生方の普段からの御指導の賜物だと感謝している。項目２３の「SHR 交流会」は１度しか実施できなかったので、来年度は異学年交流の機会を増やし、進路意識の向上を図りたい。

保護者　項目３２の「進路に応じたきめ細かい指導がなされているか」について、評価１の割合が３％あることに危惧している。情報社会である今、生徒や保護者が知っている受験に関するデータや情報よりも的確に収集・分析し、生徒・保護者に提供する必要がある。そのためには、教員間の連携がもっと必要である。

【就職課】

教職員　全項目において昨年度より評価が上がっており、概ね良好な結果であった。特に項目２６の「ホームルーム担任による個別面談は生徒の進路に役立っているか」については 0.6 ポイント上昇した。日頃からホームルーム担任による個別面談が適切に行われている結果であるので、今後も継続した取組をお願いしたい。２年生のホームルーム活動で、求人票の閲覧をするなどの取組があった。このよう

な早期の就職指導を定着させたい。

生　徒　項目２３以外は、昨年度より評価が上がっている。項目２３の進路説明会の評価は、昨年度と変わっていない。今年度３年ぶりに「職場及び学校見学会」を実施したが、職場見学への参加者が少なかった。そのため、来年度は、学校での説明会への変更を検討している。公務員を含めた業種の選択肢を増やすなど、実施内容を工夫したい。

保護者　すべての項目で上がっている。保護者との連携や資料の伝達については、生徒を通じて行われることが多く、円滑な情報提供を絶えず心掛ける必要がある。就職課と担任、生徒、保護者の意思疎通が十分に行われ、充実した就職指導ができるよう、さらに取り組んでいきたい。

【保健厚生課】

教職員　どの項目も上昇している。「生徒や教員自身の心身の健康について、気軽に保健室や教育相談課に相談できているか」の項目について 0.4 ポイント上がっている。教員の健康診断で二次検査を要する先生も多く、衛生委員会でも二次受診の推奨を積極的に進めており、通院されている先生方も増えた。今後も気軽に相談できる環境を整え、心身ともに健康な状態で勤務できるよう努めていきたい。教育環境の整備や設備、教材教育の適切な配置についても 0.4 ポイント上がっている。毎月の各掃除場所や各準備室の点検により判明した破損個所について、事務の方々の早急な対応によりかなり改善されてきている。

生　徒　保健だよりを目にしている生徒が 0.3%も増えた。令和３年度並みに回復した。保健委員からの、ＳＨＲでの啓発など今後も続けていきたい。教職員と同じく、ゆとりある環境に整えられている項目でも 0.2 ポイント増加している。今後も継続して、早期の対応を心掛けたい。

保護者　全ての項目について現状維持あるいは上昇している。中でも最も考えないといけないことは、「お子さんの心身の健康について、気軽に学校に相談できていますか」の項目が 0.1 ポイント上がっていた。引き続き全教職員が保護者と連携して子どもが安心して学校生活を送ることができるように努めていきたい。

【研修図書課】

教職員　昨年度と比較すると、ほぼすべての評価項目で評価が 0.1～0.3 ポイント上がっている。本校の先生方は ICT 活用授業改善推進授業や教科横断型の授業、ＳＳＨなど、様々なことに取り組んでおり、しっかりとした教科指導ができていると思う。また、校内外の授業研修会にも積極的に参加されている。13「生徒や教師が利用しやすい図書館施設になっているか」の項目も例年より 0.1 とわずかではあるが上がっており、廃棄図書を行い図書整備が進んでいることが影響していると考えられる。今後

も生徒・教職員が安全で利用しやすい施設、かつ、「朝の読書」時間の有効活用と、授業やホームルーム活動での図書館利用を促したい。

生　徒　昨年度と比較すると、「学習態度・内容理解・評価」の項目はポイントが上がっており、教職員の授業研究への取組が反映されていると考えられる。また、図書関連の項目において９「図書館を利用しているか」は、昨年度より 0.6 ポイント下降しており、COVID-19 が第５類となり外に出ての活動が多くなったことも要因と思われる。10「図書館に読みたい本がそろっているか」は、昨年度より 0.6 ポイント上昇し、新刊案内等に目を通している生徒にとってはいいものになっていることが分かる。今後も図書委員を通じて「朝の読書」やＳＨＲで新刊を紹介する等の呼び掛けを行いながら、生徒にとって実りのある活動を模索していきたい。

【人権・同和教育課】

教職員　昨年は、評価１のみゼロだったため、昨年の結果から評価１・２においてはゼロを目指していたが、今回は評価２もゼロになった。また、昨年度の 3.9 の評価を上回り今年度は 4,2 と３ポイント上がった。人権のＨＲ活動を拝見しても、教職員の熱い思いが生徒に伝わっているように思う。教職員対象の人権・同和教育研修会、生徒と共に取り組む人権・同和教育ホームルーム活動、識字学級などに参加の機会を設けて意見交換を図る機会、公開授業日の設定、毎月発行する人権だより『Hidamari』においては教職員にも寄稿を依頼して人権問題について考える機会を設けることで研修の更なる充実を図ってきた。このような取り組みの成果が表れているものと評価できる。多忙であると思うが、もっと積極的に先生方に様々な研修会に参加し、教職員の意識向上や指導力の充実につなげていただきたい。

生　徒　今年度はもとの学校生活に戻り、人権委員会交流学習会、識字学級交流会、タンポポスマイルさんとの交流会、長島愛生園参加交流会などに参加し、教員以外の大人の考えに触れる機会をたくさん設けることができた。そしてそれを人権だより『Hidamari』や全校放送、人権集会を通して全校生徒に還元することができ、人権意識の向上につなげることができた。また、先生方の熱い想いや努力が生徒の人権意識の向上につながったと考えられる。一方で、評価を１・２とする生徒が 9.4%いるが、人権意識が高く現状に危機感を抱いている生徒が増加しているともとることができる。

今後はさらに、生徒主体によるホームルーム活動の充実を図り、人権委員会による体験的学習活動などへの参加を呼び掛けるなど、主体的に取り組む生徒の育成に努めたい。

保護者　様々な人権教育を行っているが、結果から保護者には学校の取組みが十分に伝わっていないように思う。『Hidamari』の保護者の感想の提出も昨年度より増加してはいるが、もっと学校の人権活動を保護者へ伝わるような手段を模索したい。昨年度の評価より 0.1 上がってはいるが、もっと人権だよりの発行や公開授業日など啓発活動を継続しながら保護者も巻き込んだ人権・同和教育を考えていきたい。

【教育相談課】

教職員　項目 17 ではここ数年と同様に、評価１・２を選んだ教員はいなかった。また、評価も 0.4 ポイント上がっており先生方が一人一人の生徒に寄り添えるよう努めていただいている様子がうかがえる。また、項目 31 についても 0.4 ポイント上がっており、今後も校内における情報交換を密に行いＳＬＡや外部機関とも連携を図りながら生徒、教職員ともに心身の健康を目指し相談しやすい環境づくりに励みたい。

生　徒　昨年度と大きな変化は見られない。今年度も継続して定期的にＳＬＡとの面談を希望する生徒もいる。その反面、教育相談を利用することに抵抗を感じる生徒、利用する自分を認められない生徒もおり、教育相談を利用する前に欠席へとつながってしまうケースもある。欠席の続く生徒に関しては、学年団と連携し迅速に対応していきたい。多様な悩みを抱える生徒が増加しつつあるが、教育相談の利用方法やＳＬＡの活用方法など生徒への周知を見直し、今後も生徒の居場所づくりの一助に少しでもなれるよう努めていきたい。

保護者　関係項目において昨年度とほぼ変わらない評価であった。今年度は保護者の方のみのＳＬＡ利用や教育相談課による保護者懇談への同席、家庭訪問への同行も数件行った。今後も学校が家庭から信頼される場所(存在)となるよう各方面との連携を大切にし、保護者のニーズにあった相談体制をスムーズに提示できるよう努めていきたい。

【事務課】

教職員　昨年度よりも評価は増加している。設備・教材教具については予算との関係もあるが教職員からの要望を叶えられるように努めていきたい。今後も要望を叶えられるよう県への予算要求、学校全体での節約に取り組みたい。

生　徒　昨年度よりも 0.2 ポイント増加している。生徒会等の要望を汲み上げ生徒の安全を最優先に考え、安心して学校生活が送れるように努めていきたい。

保護者　昨年度よりも評価は増加している。ＰＴＡ環境委員会の協力も得て教育環境整備へ取り組んでいる。今後も保護者からの要望を積極的に汲み上げ、改善の参考としたい。

【管理職】

教職員　全般的に向上がみられる中で、学校経営・教育目標、ホームルーム運営・生徒指導、学校行事・特別活動、進路指導・就職指導、保健・環境の分野で大きく向上した。これは校長の教育理念や学校運営方針が職員会議や職員朝礼などをとおして浸透してきているものとみられる。また、担任を中心とした面談の充実、進路指導の充実がうかがえる。教職員の中に、生徒の声に耳を傾け、生徒に自主的

な選択ができるよう導く姿勢が定着してきたとみられ、今後も継続してきたい。

生　徒　全体的に微増の傾向となっている。本校の教育目標、校訓などについては機会を設けて紹介し、さらに浸透させていきたい。また「学校生活に満足していますか。」の問いに対して上昇したもののまだ低い値と考える。授業や学校行事のなかで生徒が活躍できる場面を増やし、満足度の向上を図りたい。

保護者　全体的に微増である。５月から新型コロナが第５類に分類されＰＴＡ活動や学校行事のへの参加も容易になったことが要因と考えられる。ＰＴＡ役員の方など、よく顔を合わせて御協力いただくことも多いが、まだ学校と多くの保護者との距離が遠いように思われる。体育祭や文化祭以外の行事、授業等で学校に足を運んでいただく人を増やせるよう、周知の方法やタイミングなどを検討したい。

宇和島東高等学校　定時制

令和6年2月1日現在

平成 20 年４月に定時制課程が設置されました。定通併修、学校間連携、高卒認定試験等による多様な単位認定により、３年間での卒業が可能です。

（1）生徒の実態

在籍生徒数

	男	女	計
１年次	5	6	11
２年次	6	7	13
３年次	4	7	11
４年次	0	0	0
計	15	20	35

入学形態

区分	現役	過年度卒
１年次	7	4
２年次	11	2
３年次	8	3
４年次	0	0
計	26	9

年齢構成

年齢区分	16～18	19	20	21～29	30～39	40～	合計
計	32	1	1	1	0	0	35

（2）年間行事等

月	行　事　名	内　容　・　結　果　等
4	入学式	10 名入学、対面式、オリエンテーション他
5	開設記念行事	グループ結団式（縦割り２団体によるバレーボール対決＆バドミントンを実施）
6	全国定通制体育大会県予選	バドミントン部　女子ダブルス優勝（全国大会出場） 女子シングルスベスト４（〃） ソフトテニス部　女子認定優勝（全国大会出場）
	修学旅行	隔年実施のため、今年度は実施せず
7	校内生徒生活体験発表大会	８名が発表、３名が南予大会へ出場
	ふれあいデイ	レクリエーション等
9	愛媛県定通制総合体育大会	バドミントン部　女子ダブルス優勝　シングルス第３位 ソフトテニス部　個人 男子第２位 女子認定優勝 陸上競技　男子砲丸投げ第２位 4×100ｍＲ第３位
	ナイトカーニバル運動会	グループ対抗戦
	南予定時制生徒生活体験発表大会	３名発表、うち１名が優秀賞受賞
	卒業証書授与式（前期）	卒業生２名
10	愛媛県定通制生徒生活体験発表大会	今年度は本校からの発表者なし
11	ナイトカーニバル文化祭	展示発表、バザー等
12	スポーツデイ	スポーツレクリエーション
	キャンドルナイト	ジェルキャンドルの制作、設置
2	カルチャーデイ	郷土料理づくり、予餞会等
3	卒業証書授与式	６名卒業予定

（3）主な進路状況【今年度（下線部）前期及び過去５年分】

☆大学・短大　松山東雲短期大学　人間環境大学　岡山大学　松山大学　四国大学
神戸松蔭女子学院大学　関西福祉科学大学　聖カタリナ短期大学
今治明徳短期大学　埼玉学園大学

☆専門学校　福岡高等技術専門校　四国中央医療福祉総合学院　河原電子ビジネス専門学校　今治看護専門学校　河原パティシエ・医療・観光専門学校　宇和島看護専門学校　新居浜産業技術専門校

☆企業等　（有）アイワベネフィット　(株)三城　山の手リゾート(株)　井関塗装　ニシムラガーデン(株)　双葉産業(株)　愛媛河合(株)　(株)田中蒲鉾　(株) セカンドストリート　北角紙器(株)　(株)小関電工